令和６年 １月
放送大学鳥取学習センター機関誌　　192 号

文部科学省認可通信教育

ぷりずむ

「ケニア・ナイロビ上空」

もくじ

巻頭言……2
所長挨拶……3
2023 年度第 2 学期単位認定試験について……4～5
＜重要＞お知らせ……5～6
事務室からのご案内……6～7
事務室・図書室からのお知らせ……7～8
面接授業の様子……8
次学期に向けての手続き……9
行事開催報告（放大まつり）……10～12
出前講演会のご報告……13
学生掲示版・学生サークル……14～15
今後のスケジュール……16

別紙　・パソコン教室のご案内

私とカタカナ文

鳥取学習センター客員教員
住川　英明

私の伯父は太平洋戦争で亡くなりました。中学生の私は、当時まだ存命だった祖母から、戦後間もない 1947 年（昭和 22 年）の春に、郷里の町で戦没者の合同葬儀があったこと、そしてそのとき町から、あるいは戦没者の生前の勤め先から、「弔詞」が遺族へ渡されたことを聞きました。弔詞とは、今で言う「弔辞」のことです。

書き文字に興味のあった私は、その弔詞を見せてもらいました。一目見て息をのみました。その筆跡があまりにも達筆だったからです（図版）。全文が「カタカナ文」つまり「漢字片仮名交じり文」で書かれていることにも驚きました。

カタカナは、外来語や学術用語、擬態語などで使われるだけだと思っていましたから、漢字以外の部分がすべてカタカナであることに驚かされたのです。考えてみれば、天皇の詔書などもカタカナ文で書かれることがあるし、漢文の訓読に近いその調子から、「公式な場面ではこのように表記するのか」と独り合点をしていました。

その後、宮澤賢治の詩「雨ニモマケズ」がカタカナ文で書かれていることに気づいたとき、私は動揺しました。賢治のこの詩は、公式な文書などではないし、教科書に図版として載っている自筆の「雨ニモマケズ」に目をこらしても、いかにも日常的な、普段着の書きぶりだったからです。

なぜ、「雨ニモマケズ」はカタカナ文なのだろう？――その「謎」が氷解したのは、図書館の本の中に、正岡子規《あづま菊》の写真を見つけたときでした。これは子規から親友である夏目漱石へ贈られた書画作品です。漱石への語りかけという意味では、「手紙」に近いものともいえるでしょう。

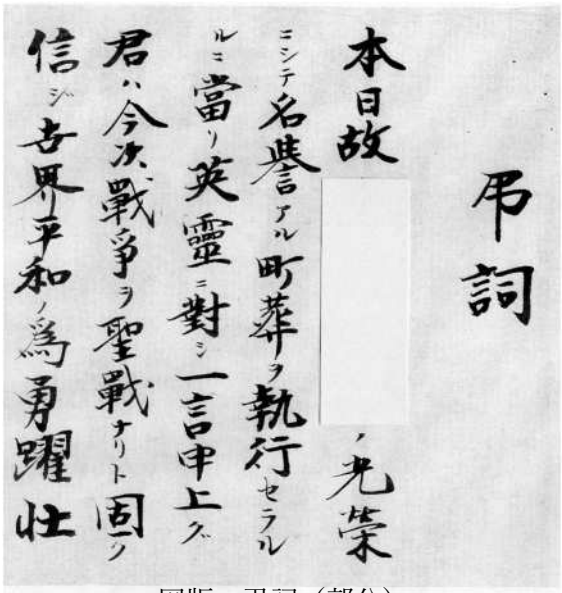
右上に「寄漱石（漱石に寄す）」、その下には一輪挿しに東菊の画、左に「あづま菊いけて置きけり／火の国に住みける／君の帰りくるかね」と書かれ、さらに画の右に小さく「コレハ萎ミカケタ処ト思ヒタマヘ／画ガマヅイノハ病人ダカラト思／ヒタマヘ嘘ダト思ハヾ肱ツイテカイ／テ見玉へ」と書き添えられています。

病床の子規は、漱石が火の国（熊本）から見舞いに来てくれるのが、楽しみでしかたがなかったのです。それでわざわざこんな「手紙」を書き、言外に「早く来い」と伝えているわけで、友に寄せる子規の思いに胸打たれます。

この一枚の作品に、漢文・ひらがな文・カタカナ文が同居していることに、今さらながら驚くのです。この時代の言語表記は、かくも多様であり、表情豊かなものでした。ここではカタカナ文は、きわめて日常的な「つぶやき」に近い役割を担っています。

結局、カタカナ文は、公式と非公式の両方の場面を受けもつ言語表記だったのです。調べてみると、賢治の「雨ニモマケズ」は、彼の没後に手帳から発見されて世に出たものであり、誰に見せるためでもないメモ書きからすくい上げられたものでした。

私の疑問は、長い時間かかってようやく新たな知識へと落ち着きました。これからも、この表記の周辺を調べていくつもりです。



図版：弔詞（部分）

先生のプロフィール

岐阜女子大学教授。鳥取大学名誉教授。新潟県出身。筑波大学大学院修士課程芸術研究科（書コース）修了。小・中学校や高等学校における書写・書道の学習の内容や方法などについて教えています。日本の近世・近代の文化人の書簡を読むのが大好きです。

新年と
退任のご挨拶

所長　田中　久隆

皆さま、新年あけましておめでとうございます。本年も皆さまにとって良き年でありますよう祈念しております。

例年のように昨年を振り返ってみると、新たにパレスチナ問題も加わり、世界全体では暗いニュースが多かったように思います。しかし、明るいこともありました。新型コロナウイルスの感染拡大がほぼ収まり、放送大学では面接授業などもコロナ前の状態に戻りつつあります。また、鳥取学習センターの学生・卒業生による文化祭「放大まつり」が復活し、11 月 23 日盛大に開催されました。久しぶりに本学の学生・卒業生の活発な交流が行われました。詳しくは本号の後頁をご覧ください。

世の中の明暗はさておき、放送大学はここ数年、大きな曲がり角に差し掛かっています。自宅での Web 単位認定試験の開始、本年第一学期からの授業料値上げ、BYOD（Bring Your Own Device：自身のパソコンを持ち込む）方式の面接授業の開始などです。ライブ Web 授業（Web 活用のリアルタイム面接授業）の拡大も検討されています。今後、パソコン・IT を利用した授業形態が増えてきますから、それに付いてゆけるスキルを習得しておくことが重要になってきます。

さて、私事ですが本年三月末、任期満了で本学習センターの所長を退任します。一年目は面接授業の講師依頼のほか、教務関係や学生募集など勉強の日々だったような気がします。二年目は自分なりに問題と思う案件に取り組み、改善を試みました。しかし、自身の力不足のため、ほんの一部しか実現できませんでした。そして三年目は、次期所長への引き継ぎが遺漏なく進むよう思案し、まとめる一年でした。今後、なお一層、学生本位の放送大学＆学習センターであることを望むばかりです。

前任校の鳥取大学に在職中、1994 年から何度かアフリカのケニアを訪問し、現地の大学で教育・研究の支援活動をさせていただきました。逆に、その大学から若手教員を受け入れて、修士・博士の学位取得のお手伝いもしました。来日した教員の中でもＩ先生は大変研究能力が高く、しかも勤勉で、現在、その大学の副学長を務めています。指導教員としては、うれしい限りです。

ご存じの方もあるかも知れませんが、ケニアなどで使われているスワヒリ語の言い伝えに

Milima haikutani, lakini binadamu hukutana.

というのがあります。これは「山と山は出会わないが，人と人は出会えるものだ」という意味です。（注）ケニアとタンザニアには大きな二つの山、ケニア山とキリマンジャロ山が約 300km 離れてあります。

上記のＩ先生との出会いはもとより、これまでの大学生活で数々の出会いがありました。研究の楽しさと奥深さを教えて下さった学生時代の恩師、研究面だけでなく生き方も教えて下さった教員時代の恩師、そして三年の短い間でしたが、真剣に、しかも楽しく学んでいる姿を見せて下さった放送大学の学生の皆さんに出会えました。すべて私の宝ものといえます。心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、鳥取学習センターの学生・卒業生の皆さん、事務室の皆さん、客員教員の先生方、在職中お世話になった関係各位に感謝を申し上げるとともに、今後の皆さまのご健勝をお祈りし、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

2023 年度第 2 学期単位認定試験について

参照『学生生活の栞』学部 P65～74、大学院 P67～76

通信指導の結果により受験資格を得た方は、学期末に行われる単位認定試験を受験してください。出題範囲は第 1 回から最終回までの全授業とそれに対応する印刷教材です。 2 学期の単位認定試験についても引き続き Web 受験方式（一部科目※については郵送受験方式）で実施されます。
実施期間および実施方法は以下のとおりです。詳細については、大学本部から郵送されるお知らせ、またはウェブサイト **2023 年度単位認定試験についてのご案内**をご覧ください。
https://www.ouj.ac.jp/for-students/webshiken/2023/

試験実施期間

（教養学部・修士課程ともに）試験日程

＜Web 受験方式＞
試 験 期 間：**2024 年 1 月 16 日（火）9:00～1 月 24 日（水）17:00**

＜郵送受験方式＞
提 出 期 間：**2024 年 1 月 16 日（火）　～1 月 24 日（水）郵送必着**

※「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」の 3 科目のみ郵送受験方式（自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法）

試験実施方法

＜Web 受験方式＞
○Web 受験方式で実施します。（上記の 3 科目のみ郵送方式）
○1 科目 5 0 分の制限時間があります。（郵送受験科目を除く）
・受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まった後は、受験画面を閉じてもカウントダウンは進行します。（一時停止不可、 1 科目 1 回のみ受験可能。）
・解答の途中で、【解答を保存する】ボタンを押して、解答内容をこまめに保存してください。
○「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。（郵送受験科目を除く）

★Web 単位認定試験の体験版公開
・実際の受験の際に操作がスムーズに行えるように、体験版でログインから解答提出までの操作の流れを**試験期間前までに**必ず体験しておいてください。

＜郵送受験方式＞
○1 月上旬に大学本部から送付される、問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、試験期間内に郵送で答案を提出します。

＜受験票＞
○1 月 9 日（火）になっても、受験票が到着しない場合は、大学本部（☎043-276-5111・学生サポートセンター）または鳥取学習センター（☎0857-37-2351）にご連絡ください。

心身等に障がいのある方で、自宅での Web 受験が困難な方への配慮（特別措置）

○心身等に障がいのある方で、自宅等での Web 受験が困難な方につきましては、障がいの特性に応じた配慮を行うことにしております。
放送大学ウェブサイト(https://www.ouj.ac.jp）→**2023 年度単位認定試験についてのご案内→「5. 心身等に障がいがある方で、自宅等での Web 受験が困難な方への配慮について（修学上の特別措置）」**をご覧ください。

自宅での Web 受験が困難な方へ

○Web 受験が困難な方は、申請をすれば学習センターで受験することができます。既に申請期間は過ぎておりますが、諸事情で急遽自宅受験ができなくなった方は、速やかに当学習センターにご連絡ください。（☎0857-37-2351）
学習センター受験の注意事項については、学生生活の栞（学部 p 67、大学院 p 69）を参照してください。

ウェブサイト内の Q&A のご案内

○ウェブサイト **2023 年度単位認定試験についてのご案内**の中に、よくあるご質問の項目があります。単位認定試験実施について参考になる内容が掲載されておりますのでご確認ください。

再試験について

○今学期に、新規登録した科目の単位修得ができなかった方は、2024 年度第 1 学期単位認定試験時に、再試験の受験資格があります。ただし、学籍が続いていることが条件になります。今学期で在学期間が終了する方は、継続入学の手続を忘れずに行ってください。**（通信指導及び単位認定試験を行わないオンライン授業科目は、再試験はありません。）**

成績について

○今学期の試験結果については、2 月下旬に「成績通知書」によって通知されます。また、システム WAKABA「教務情報→履修成績照会」でも成績を確認することができます。試験問題に関する疑義については、上記「学生生活の栞」の学部 P72・大学院 P73～74 をご参照ください。

＜重要＞お知らせ（2024 年度第 1 学期～）

～2024 年度第 1 学期から変わります～

◆科目登録◆単位認定試験期間
◆学習センターで受験する方法（自宅で Web 受験が困難な方）

	2024 年度 1 学期から	2023 年度 2 学期まで
科目登録時の制限	自宅受験の場合は、試験日及び時限が同一の科目でも同時に 2 つ以上登録することができる。	試験日及び時限が同一の科目の場合、同時に 2 つ以上登録できない。
単位認定試験期間	「実施方法」及び「出題形式」によって試験期間が異なる。	「実施方法」及び「出題形式」が異なっても試験期間は同じ。
自宅での Web 受験が困難な方が、学習センターで受験する方法	**2024 年度第 1 学期に入学する方** （継続入学の場合を含む） 出願票の「単位認定試験受験場所」で「学習センター受験」を選択する。	「学習センター受験申請書」を放送大学の単位認定試験係に郵送する。
	2023 年度第 2 学期より引き続き在学している方 2023 年度 2 学期に受験した場所が、システム上の受験場所として登録されている。受験していない方は、「全て自宅受験」として登録されている。受験場所を変更する場合は、2024 年度第 1 学期に申請する。申請方法および申請期間は学生生活の栞で確認する。	

◆単位認定試験日程（2024 年度第 1 学期）

実施方法	出願形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 試験	択一式科目	2024 年 7 月 14 日（日）9：00～7 月 22 日（月）17：00
	記述式・併用式科目	2024 年 7 月 14 日（日）9：00～7 月 18 日（木）24：00
郵送試験	すべての出題形式	2024 年 7 月 14 日（日）～7 月 18 日（木）≪必着≫

◆授業の改定

学部／大学院	**授業料（2024 年度 1 学期～）**	授業料（2023 年度 2 学期まで）
学　部	**1 単位　6,000 円**	1 単位　5,500 円
大学院修士課程	**1 単位　12,000 円**	1 単位　11,000 円
大学院博士後期課程	**1 単位　48,000 円**	1 単位　44,000 円

大学院	**研究指導料（2024 年度 1 学期～）**	研究指導料（2023 年度 2 学期まで）
大学院修士課程※	**1 年当り　96,000 円**	1 年当り　88,000 円
大学院博士後期課程※	**1 年当り　384,000 円**	1 年当り　352,000 円

※　2024 年度に新たに研究指導を科目登録する場合適用されます。

◆学生が使用するパソコンの廃止と BYOD

面接授業および自己学習で学生が使用していた学習センターのパソコンやプリンターは、2024 年度 1 学期から廃止されます。面接授業や自己学習等でパソコンを使用する際は、ご自身のパソコンをご持参ください。（BYOD）・・・自分用パソコン持ち込み方式

また、Wi-Fi を利用されたい方は、後の**「視聴学習室の学習ブースのご案内」**をご覧ください。

なお、パソコン持参で受講する面接授業の詳細にいては、**面接授業開設科目一覧**に**「持参必須」**と記載されています。**面接授業時間割表**や**システム WAKABA のシラバス**を必ずご確認いただき、科目登録申請をしてください。必要となるパソコンの性能やソフト等も、2024 年 1 月 4 日公開予定の各科目の**シラバス**でご確認ください。

また、学習センターにプリンターはありませんので、紙媒体でレポート提出が必要な科目の場合、自宅やコンビニ等で印刷していただく必要があります。

※パソコンを使用しない面接授業については、これまでと同様に開設します。

※従来の放送授業視聴用の端末（Chromebook）は、2024 年度以降も各学習センターにて使用できます。

＜参考＞2024 年度第 1 学期にパソコンを持参して実施する面接授業科目
（鳥取学習センター開設）
「心理学実験 2」「水災害多発時代を乗り越える知恵」「Excel によるデータ処理」の 3 科目

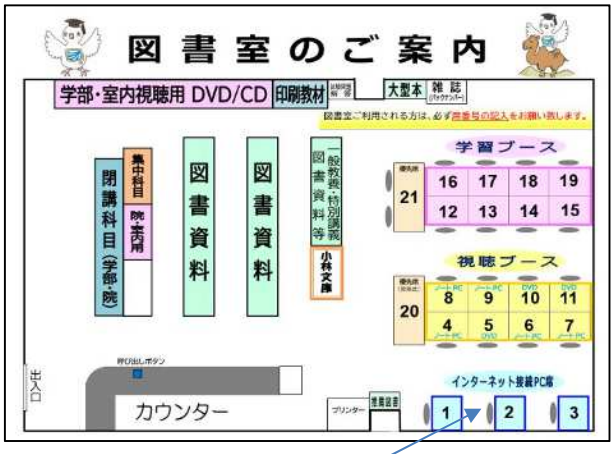
事務室からのご案内

「視聴学習室の学習ブースのご案内」

鳥取学習センターでは、視聴学習室に学習ブースを設置しております。この学習ブースには、PC 用コンセントがあり、自由にご自分の PC で学習していただけます。

なお、当室にて **Wi-Fi** を利用されたい方は、お申し出ください。無線 LAN 利用のための認証用 ID・PW をお渡しします。（無線 LAN 利用許可書）条件として、以下が必要です。

（システム WAKABA より放送大学自己学習サイトの情報セキュリティ研修（学生用）を受ける。→小テストに合格する。→無線 LAN 利用申請書を提出する。）



2024 年 4 月から廃止されます

「卒業研究に感心のある学部生へのご案内」

卒業研究は、全科履修生の選択科目です。（必修ではありません）卒業研究報告書の審査および面接審査に合格すると、科目区分では**コース科目（自コース）の 6 単位**として認定されます。（授業形態では、**放送授業：3 単位、面接授業：3 単位**の計 **6 単位**として認定されます。

卒業研究の申請条件

①2024 年 4 月時点で放送大学に全科履修生として、在学中であること※1
②2024 年 4 月時点で放送大学に全科履修生として、2 年以上在学していること※2
③申請時点で 62 単位以上の単位を修得していること（入学時の他大学等の既修得単位を含む）
※1 現在休学中の方は申請不可。
※2 全科履修生として休学・停学期間を除いて 2 年以上在学していること。

詳細については、6 月上旬の卒業研究履修の手引き～2025 年度履修者用をご覧ください。

卒業研究申請等スケジュール（概要）

日　程	事　項
2024 年 6 月上旬	学習センター主催　卒業研究ガイダンスの実施
6 月～7 月	卒業研究に関する質問の受付① 質問対象：申請前段階での研究テーマや研究計画等に関する質問 指導可能教員や指導方法等の個別の質問
8 月中旬	**卒業研究履修希望申請（一次）受付**
9 月上旬	卒業研究に関する質問の受付② 質問対象：申請後の研究計画等のより具体的な相談 事前学習の中で生まれた学問的な質問
11 月上旬	**申請の審査結果通知（仮決定通知）** 履修可　審査の結果、履修が認められた場合 履修否　申請内容のままでは、卒業研究の履修が認められない場合
11 月中旬	卒業研究履修希望申請（二次）受付 8 月の申請で履修否となった方のみ対象
2025 年 1 月中旬	**申請の最終審査結果通知（本決定通知）**
2 月中旬～2 月下旬	**科目登録申請** 1 月に履修可の通知があった方のみ
3 月	授業料の納入
4 月上旬	指導教員の連絡をもって指導開始

卒業研究にご興味のある方は、ぜひ鳥取学習センター事務室にご相談ください。

事務室・図書室からのお知らせ

「学位記授与式・入学者の集い」のお知らせ

当学習センターは、2023 年度第 2 学期「学位記授与式」及び 2024 年度第 1 学期の「入学者の集い」を下記の日程で実施します。（変更等がある場合は、ウェブサイト等でご連絡いたします）

2023 年度 第 2 学期「学位記授与式」
日 時：2024 年 4 月 7 日(日)　10：30～
場 所：放送大学 鳥取学習センター講義室

2024 年度 第 1 学期「入学者の集い」
日 時：2024 年 4 月 7 日(日)　13：30 ～
場 所：放送大学 鳥取学習センター講義室

「単位認定試験期間中の施設利用について」

単位認定試験期間のため、**1 月 16 日（火）～1 月 24 日（水）**まで、**学生控室、図書室・視聴学習室、客員教員室**を閉室といたします。学習相談も行いませんのでご注意ください。

ただし、当学習センターで受験をする学生はその限りではありません。

なお、事務室は開所していますので通常通り電話対応・窓口対応を行います。

「放送教材入替のための閉室について」

放送教材入替作業のため、図書室・視聴学習室を **3 月 24 日（日）～3 月 31 日（日）**まで閉室させていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

「図書館での印刷教材テキストの貸出について」

倉吉市立図書館に放送大学の印刷教材テキスト 344 冊が整備され、2023 年 10 月 6 日から貸出が始まりました。**鳥取県立図書館、米子市立図書館**に続き 3 例目です。

来館が困難な方は、図書館のネットワークを利用して、市町村立図書館を通して借りることができます。詳しくは各図書館にお尋ねください。

面接授業の様子

鳥取学習センター開設の面接授業の中から、**「ラテンアメリカ言語と文化」**の授業の様子をご紹介します。

面接授業　令和 5 年 11 月 4 日（土）・11 月 5 日（日）講師 Abe Maria Luisa

「スペイン語圏の食文化と祝祭日」の授業で、トルティージャやスープなどの調理と実食をしました

受講の感想

- 文化理解のために、先生の準備されたスペイン・中南米の料理を味わうことができたのが、大変良かったです。
- 食べて知ることや 2 つの sopa などが良かったです。ごちそうさまでした。
- 先生がフレンドリーだったので、柔らかな雰囲気で授業が進んで良かったです。
- 受講生が少なったので質問や議論が十分にできて良かったです。
- 言語はすぐに理解できないと思いました。もう少し受講にあたり予習が必要でした。
- コマ数が足りない感じがしました。15 コマを使ってじっくり取り組むのにふさわしいテーマでした。

次学期に向けての手続き

次学期も学籍が続く方には、大学本部より**1月中旬**に科目登録申請要項が届きます。また、次学期で学籍が切れる方には、「継続のご案内」のプリントが届きますが、出願要項の冊子等は同封されません。郵送出願をご希望の方は、学習センターまたは大学本部に資料請求をしていただくか、学習センターに来所してお受け取りください。出願および申請の際には、要項および「学生生活の栞」(学部 P55～60・P91～93、大学院 P56～62・P90)を必ず熟読のうえ、お間違えのないよう手続きをしてください。鳥取学習センター(☎0857-37-2351) 大学本部・学生サポートセンター (☎043-276-5111)

なお、継続入学出願、科目登録申請ともに、システム WAKABA からも手続き可能です。

2024 年 3 月末日で学籍が切れる方

2024 年 4 月以降も学籍が続く方

	継続入学出願	科目登録申請
申請期間	郵 送 1 回目：**11 月 26 日～2 月 29 日** 私書箱必着 2 回目：**3 月 1 日～3 月 12 日** 私書箱必着 システム WAKABA 1 回目：**11 月 26 日 9 時～2 月 29 日 24 時** 2 回目：**3 月 1 日 0 時～3 月 12 日 17 時**	郵 送 **2 月 13 日～2 月 28 日** 私書箱必着 システム WAKABA **2 月 13 日 9 時～2 月 29 日 24 時**
注意事項	◇次学期に再試験のみを希望される場合 「出願票の科目登録欄」継続入学生の方への質問は◆はいの欄に○を記入してください。ただし、今学期の試験ですべての科目が合格となった場合は、自動的に出願が無効になります。 ◇選科・科目履修生が、初めて全科履修生に出願する場合、一部の方を除き証明書類が必要ですので、ご注意ください。 ◇卒業研究のみ履修される方は、システム上の理由によりインターネット出願ができませんので、『2024 年度第 1 学期学生募集要項』を学習センターへ請求し、出願してください。	◇学部生で、次学期の面接授業の科目登録を希望される場合は併せて申請を行ってください。 ◇「科目登録申請票」(郵送)で申請された場合は、必ず申請期間内に本部に到着するよう、余裕をもって申請してください。またこの場合、提出後の科目変更・追加・取り消しはできませんのでご注意ください。 ◇「システム WAKABA」からの科目登録申請の場合は、科目登録申請期間中は登録科目の変更・追加・取り消しが可能です。(ただし、全ての登録科目の取り消しはできません。) ◆自宅受験の場合は、試験日及び時限が同一科目でも同時に 2 つ以上登録することができます。(2024 年度から変更)

※卒業見込みの方

次学期以降在籍期間がある方

①卒業とならなかった場合に備えて科目登録申請する場合

大学本部より送付される「科目登録申請票」より所定の期間内に申請してください。

再試験のみ受験される方は、科目登録は必要ありません。

②卒業となった場合の入学出願をする場合

システム WAKABA または、出願票にて期間内に出願をしてください。卒業となった場合、自動的に第 3 年次編入となります。

両方提出した方は、該当する方のみが適用されます。

次学期以降在学期間が満了となる方

○継続入学出願をしてください。卒業とならなかった場合、第 4 年次に入学となり、卒業要件をみたした学期末で卒業となります。

※科目登録申請要項が申請開始 8 日前になっても届かない場合は、大学本部・学生サポートセンター(☎043-276-5111)までお問い合わせください。

■ 報告

令和５年度　放送大学鳥取学習センター文化祭

“放大まつり”を開催しました

学友会会長 清水道代

1. 日程等

日　時: 令和 5 年 11 月 23 日（木・祝）

場　所: 放送大学鳥取学習センター（以下「鳥取 SC」）内（鳥取市富安）

2. 準備

本年度は、令和 2 年以来 3 年ぶりとなる放大まつりを、対面で開催しました。本行事は、コロナ感染症対策に基づく行動制限などにより、同年～同 4 年の 3 年間、対面での実施は中止を余儀なくされ、その間、規模を縮小して作品展示のみの開催としていました。今年になりコロナ感染症対策の方針が見直され、感染法上の扱いが 5 月 8 日をもって 5 類に移行したことから、３年ぶりとなる対面開催を計画しました。実施に際し、鳥取同窓会、学友会及び事務室が共同して「放大まつり実行委員会」を立ち上げました。実行委員会は、7 月 1 日を初回とし、各団体が実行委員として選任され、清水謙一氏が実行委員長に任命されました。会議では、放大まつりの運営、出演、出展及び出品の募集と当日参加を鳥取 SC 機関誌「ぷりずむ」などで行うことなどを話し合いました。その後、4 回の打ち合わせを重ね、修士論文発表会、講演会、フリーマーケット、半幅帯体験、折り紙教室、漂着貝を使ったレジンワークショップの実施を決めました。本イベントの開催告知はチラシを作成して関係機関などに配架していただくとともに鳥取市市報（11 月号）、日本海新聞（11 月 21 日）、鳥取 SC の Web サイトなどで行いました。

作品等展示は、11 月 18 日に行いました。サークル「書に親しむ会」及び住川英明先生（客員教員）の書、田中久隆所長の写真、熊原啓作先生の貴重なコレクション「コペルニクス生誕 550 年」記念切手、西田良平先生の折り紙作品、小林一先生の園芸（鉢植え）、澤田廉路氏の水彩画、サークル「ジオ部」の活動ポスターなどを、多目的室、廊下、講義室に展示、出品しました（写真１～8）。同時に、放送大学開学 40 周年および鳥取 SC 最近 5 年間の歩みをポスターなどで紹介しました（写真９）。

３．当日の様子

開会は実行委員長の挨拶からはじまり、コロナ禍中、対面での授業や行事が中止になって学生、教員間の交流機会が失われる中、人と人のつながりの重要性を再認識したこと、本日、“放大まつり”を 3 年ぶりに対面で実施できることの喜びが述べられました。続く修士論文発表会では、西本弘之氏と筆者が放送大学大学院で修めた修士研究を発表しました（写真 10）。休憩を挟み、西田良平先生（鳥取大学名誉教授、放送大学鳥取 SC 第 4 代所長）による講演会「関東大震災から 100 年、鳥取地震から 80 年―山陰の地震について―」には、定員を超える 32 名にご参加いただき、講義室に入れない方は事務室前に設置した講義室ライブモニターで視聴していただきました（写真 11）。

休憩時間には、講義室をフリーマーケット、各ワークショップ会場へと模様替えし、学生控室ではカフェをオープンして訪れた方々にコーヒーやお茶を振る舞いました。午後からのフリーマーケット、体験教室やワークショップにはたくさんの方に参加していただき、放大まつりは盛況のうちに幕を閉じました（写真 12～15）。

４．まとめ

田中所長、事務室のご協力のもと、実行委員全員で企画、準備をし、たくさんの方に来場していただきました。また、県外在住、他県 SC 所属学生にもご参加いただくなど、多くの方に鳥取 SC の活動を見ていただく機会になりました。準備や片付けは、役割の有無にかかわらずその場に居た方が自主的に行動されました。課題も多々あったかと思いますが、本イベントを通じて、学生、先生方、ご来場の皆様と交流できたことは喜ぶべきことです。全員の表情は明るく、鳥取 SC 本来の姿を再認識した一日でした。

作品展示

1.書に親しむ会　「書」

4.熊原啓作先生　記念切手
「コペルニクス生誕550年」

7.澤田廉路氏　水彩画
「武家門とメタセコイア」他

2.住川英明先生
「芥川龍之介の句」

5.西田良平先生
「折り紙」

8.サークル「ジオ部」
活動ポスター

3.田中久隆所長
写真「闖入者」他

6.小林一先生
園芸（鉢植え）「万年青」

9.「放送大学開学40周年」
「鳥取SC最近5年間の歩み」

修士論文発表会と講演会

10.修士論文発表会
「西本弘之氏」
「清水道代氏」

11.講演会「西田良平先生」
「関東大震災から100年、鳥取地震から80年－山陰の地震について－」

フリーマーケット&ワークショップ

12.折り紙　13.半幅帯体験　14.フリーマーケット

15.レジンアクセサリー作成と漂着貝の標本

Coffee break

学生控室にてカフェを
オープン

実行委員の集合写真

鳥取 SC の学生だった方から
お花が届きました

出前講演会のご報告

米子市立図書館と共催で当センターの住川英明客員教員による「画家の手紙を読む－藤田嗣治と作戦記録画」をテーマに出前講演会が開催され、33 名の方が参加されました。

令和５年 12 月２日　米子市立図書館

「12 月 12 日・日本海新聞に掲載」

『概要』

藤田嗣治（つぐはる）は、１８８６年東京生まれで当時の東京美術学校西洋画科に入学するも、その画風が当時の日本画壇の支配的な画風から評価されないため卒業後に渡仏し半生をフランスで活躍した洋画家です。彼は「乳白色の肌」と呼ばれる独特の絵肌の作品を制作し、エコール・ド・パリを代表する画家として１９２０年代を黄金時代として活躍しました。その後第二次世界大戦が勃発し日本への帰国を余儀なくされ、太平洋戦争が始まると陸軍省からの依頼を受けて陸軍美術協会理事長に就任し、従軍画家として記録のための戦争画（作戦記録画）を制作しました。彼は戦争画を手がけたことで終戦後は画壇から「戦争協力者」としての烙印を押され失意のうちにフランスへと離日します。同国の国籍を取得しカトリックの洗礼を受けレオナール・ツグハル・フジタと改名し、以後一度も日本に戻ることなく生涯をフランスで過ごしました。

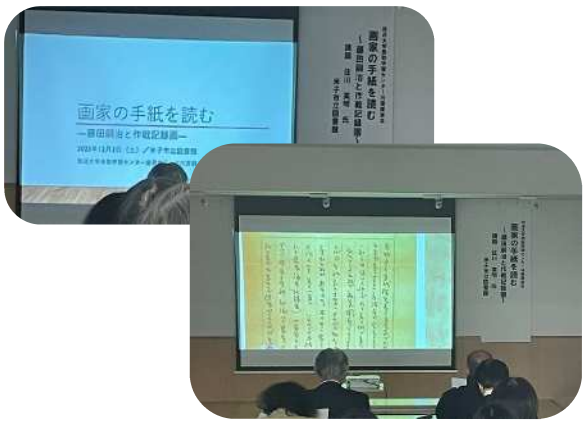
彼はいわゆる「筆まめ」で、家族宛や同業者（美術家）宛などたくさんの手紙や日記＝「書きもの」を残しています。多くの手紙には文字だけではなく、画家らしく相手への思いのこもったイラストが添えられていて、またその多くは自身が日常生活を過ごすお茶目な姿を描いた愛情あふれる絵手紙でした。いくつかの手紙は彼の人生の「転機」を証言するものであり、そんな彼が残した手紙の中から新たな事実が分かった初出の手紙の内容が講師から紹介されました。そこには自身の戦争画を見て感動して涙する日本人の姿を見て、初めて日本で自分の絵が評価されたことは画家冥利に尽きるが、一方で自分の絵が人の心を打ったり鼓舞することは恐ろしいとも記されていました。

手紙だけで一冊の書籍が出版されるような画家藤田嗣治、油彩画の本場ヨーロッパで本格的に勝負し作品を現地で売ることで生活できた初めてのアジア系美術家でありながら、自らの絵のせいで数奇な運命に翻弄されることとなった一人の画家についての興味深い講演となりました。

「私が日本を捨てたのではない。日本に捨てられたのだ」「国のために戦う一兵卒と同じ心境で描いたのになぜ非難されなければならないのか」晩年の彼の口から繰り返し発せられた言葉だそうです。これらの言葉に母国日本との間にあった独特の「距離感」を感じさせられます。

彼の作品は戦争「写真」ではなく戦争「画」でありそこには写実ではなく想像も入ると自身が伝えています。

現在も戦争は世界のどこかで現実に起こっています。「戦争画」についてこの時期に改めて考えてみることも重要なのではとの問いかけで締めくくられました。



講演中の様子

サークル活動の実施に関しましては、日程変更がある場合など**鳥取学習センターウェブサイト等でお知らせします。ご不明な点は、お電話等で確認をお願いいたします。**

書に親しむ会

心を落ち着けて「書」に向かうひとときを過ごしてみませんか。

鳥取学習センターに学ぶ学生のサークル活動の一環として、初めて筆をもたれる方から経験者まで、共に書に親しむことを通じ、相互の親睦と交流を図ることを目的に開催します。お気軽にご参加ください。

講　師　放送大学鳥取学習センター客員教授　住川 英明 先生
（日本書道史学、書写書道教育学）

日　程　1/9(火)、2/21(水)、3/13(水)

時　間　13：30～15：00

場　所　鳥取学習センター

和風サークル「さつき」

「着物」をより身近に楽しむ「和風サークル『さつき』」です。

毎月１回程度活動しています。
着物や和装に興味のある方のご参加をお待ちしています。
季節ごとに様々なイベントも計画しています。見学大歓迎です♪
着物や道具をお持ちでない方もお気軽にご参加ください。

日　程　2/18（日）、3/17(日)

時　間　13：00～15：00

場　所　鳥取学習センター

持ち物　着物、着付けの道具等

申　込　学習センターまでお申し込みください。

熊原先生と楽しく数学を学ぼう！！

「心理学実験の面接授業を受講したけど、統計が難しかった」とよく耳にします。心理学実験を受講したいけれど、統計学が難しそうだからと受講を躊躇していらっしゃる方も多いのでは・・・。まずは、統計学の初歩の初歩を一緒に学びませんか。先生曰く、「難しいと思われがちな数学ですが、段階を踏み一歩ずつ進めば案外わかりやすいことも多いです。一緒に楽しく学びましょう。試験等は一切ありません。」

科　目　数　学（学習内容は熊原先生と受講生が相談のうえ決定します）

講　師　熊原 啓作 先生（放送大学名誉教授、鳥取大学名誉教授、放送大学教養学部在籍）

日　時　毎月第２・第４土曜日　14：00～15：30

場　所　鳥取学習センター

受講料　無　料

連絡先　☎0857-37-2351　Email　newtottori@ouj.ac.jp

～「学友会・同窓会主催懇親会（忘年会）」開催の報告～

日　時：2023 年 11 月 18 日（土）18：30～
会　場：炉端焼き「かば」
参加者：11 名

本年度は、7 月のビアパーティーに続き 11 月 18 日に忘年会を行いました。久々に楽しい時間を過ごしました。学習センターで知り合った人たちとは学習についての会話ができ、お互いに刺激になります。新型コロナ感染症が少し落ち着いた今、改めて皆で一緒に時間を共有することの大切さを痛感しています。飲食をともなう懇親会は年に 2 回ですが、顔を合わせて話をする貴重な時間です。

次回は来年度の夏の予定ですが、ぜひ一歩踏み出して知り合った人たちとお話をする素敵な時間の共有はいかがですか？与えられた有限な時間を充分に楽しみましょう。　　学友会　立脇寿江

≪自主ゼミ≫ 始めます！～誰でも参加できる勉強会～　＜学友会主催＞

日　時：2024 年 2 月 4 日（日）10：00～11：00
会　場：放送大学鳥取学習センター講義室
内　容：趣旨説明（学友会会長清水道代＆鳥取 SC 所長田中久隆先生）
卒業研究体験発表（武田由美子さん）
目　的：1）**放送大学で学んだ/学んでいることを発表する機会の創出**
2）**自主ゼミを通して自身の学習/研究を整理する**
3）**学習/研究仲間を作る**

参加資格は、放送大学鳥取学習センターに所属する全学生です。興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。

～誰でもかんたん！たのしい！パソコン教室のご案内～　＜同窓会主催＞

日　時：1 回目 2024 年 2 月 25 日（日）13：30～16：00
2 回目 2024 年 3 月　3 日（日）13：30～16：00
会　場：放送大学鳥取学習センター講義室
講　師：山田順子さん（鳥取同窓会理事）
定　員：20 名（先着順）
申　込：鳥取学習センター事務局 ☎ 0857-37-2351

初心者対象です。どちらか 1 回のみの参加でも OK です。詳細は、添付のチラシをご覧ください。

～西田先生の叙勲をお祝いする会～

日　時：2024 年 2 月 4 日（日）12：00～15：00
会　場：roast beef Rosé（ローストビーフ ロゼ）
☎ 0857-32-9330 予約名：清水
鳥取市末広温泉町 152 番地　TS ビル 1 F
*専用駐車場はありませんので、最寄りのパーキングまたは鳥取 SC をご利用ください
会　費：4,000 円（花束・記念品等含む）
申込み：鳥取学習センター事務室 ☎ 0857-37-2351
締　切：2024 年 1 月 31 日（水）

第 4 代所長西田良平先生が瑞宝中綬章を受賞されました。西田先生を囲み、これまでの研究のご苦労などをお話しいただきながら、楽しく過ごす機会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

今後のスケジュール

1月			2月			3月		
1	月	閉所日　元旦	1	木		1	金	㊚㊟ 2024年度第1学期第2回出願開始（～3/12）
2	火	閉所日	2	金		2	土	
3	水	閉所日	3	土	長谷川先生オープンセミナー	3	日	パソコン教室
4	木		4	日	田中先生オープンセミナー 自主ゼミ	4	月	閉所日
5	金		5	月	閉所日	5	火	
6	土	面接授業	6	火	御舩先生オープンセミナー	6	水	
7	日	面接授業	7	水		7	木	
8	月	閉所日　成人の日	8	木		8	金	
9	火	書に親しむ会	9	金		9	土	数学セミナー
10	水		10	土	数学セミナー	10	日	
11	木		11	日	閉所日　建国記念の日	11	月	閉所日
12	金		12	月	閉所日	12	火	㊚㊟ 2024年度第1学期第2回出願締切（郵送必着・Web～17時）
13	土	面接授業　数学セミナー	13	火	2024年度第1学期科目登録申請開始（郵送～2/28・Web～2/29）	13	水	書に親しむ会
14	日	面接授業	14	水		14	木	
15	月	閉所日	15	木		15	金	
16	火	㊚㊟単位認定試験	16	金		16	土	
17	水		17	土		17	日	和風サークル「さつき」
18	木		18	日	和風サークル「さつき」	18	月	閉所日
19	金		19	月	閉所日	19	火	
20	土		20	火		20	水	閉所日　春分の日
21	日		21	水	書に親しむ会	21	木	
22	月	閉所日	22	木		22	金	
23	火		23	金	閉所日　天皇誕生日	23	土	数学セミナー
24	水		24	土	数学セミナー	24	日	図書室・視聴学習室閉室（※）
25	木		25	日	浦木先生ワークショップ パソコン教室	25	月	閉所日
26	金		26	月	閉所日	26	火	
27	土	木原先生オープンセミナー アベ先生出前講演会　数学セミナー	27	火		27	水	
28	日	浦木先生ワークショップ	28	水	2024年度第1学期科目登録申請締切（郵送必着）	28	木	
29	月	閉所日	29	木	2024年度第1学期科目登録申請締切（Web～24時） ㊚㊟ 2024年度第1学期第1回出願締切	29	金	
30	火					30	土	
31	水					31	日	

㊚…教養学部　㊟…大学院修士課程　㊦…大学院博士課程　㊩…学校図書館司書教諭講習

※書架整理のため、図書室・視聴学習室は閉室ですが、学生控室や窓口は利用できます。

鳥取学習センターの 開　所　時　間

期　間	曜 日	開 所 時 間
通　常　期	火 ～ 日	9：30～18：00
単位認定試験期間	火 ～ 日	9：30～18：00
毎週月曜・祝日・年末年始他	閉　所　日	

※単位認定試験期間中は、入所制限並びに開所時間が変更になります。ご注意ください。

ぶりずむ　第192号　令和6年1月発行
編集・発行　放送大学　鳥取学習センター

〒680-0845鳥取市富安2-138-4
鳥取市役所駅南庁舎５階
TEL 0857(37)2351
FAX 0857(37)2352
Email newtottori@ouj.ac.jp
web site　https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori

放送大学鳥取学習センター
学生・同窓会員のみなさまへ

２０２３年度
放送大学鳥取同窓会主催事業

誰でもかんたん！！たのしい！！

パソコン教室のご案内

参加費無料
定員２０名

［日時］ １回目　**2024年2月25日（日）13：30～16：00**
２回目　**2024年3月 3 日（日）13：30～16：00**

［会場］ 放送大学鳥取学習センター講義室

［講師］ 山田順子さん（鳥取同窓会理事）

●１回目は**Word**、２回目は**Excel**の使い方を中心としながら、その他**PowerPoint**、**ZOOM**など参加者のご希望に合わせてご指導いたします。日頃のパソコン操作に関しての疑問が解消できます。

●学生又は同窓会員であれば参加可能。同窓会の活動をぜひのぞきに来てください。

●どちらか１回のみのご参加もお待ちしています。お気軽にお申込みください。

【持ち物】　・ノートパソコン　（なければ貸出可）
・**USB**　・筆記用具

お申込みは
各開催日前日までに
お電話で

鳥取学習センター事務室（０８５７－３７－２３５１）へ